



ユーザーマニュアル
(c.PDF 変換／印鑑の捺印)

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は SkyPDF Standard / Professional 7（以下、本製品）で利用できる機能を説明するものです。
本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。
当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。
本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。
当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。
当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。
予めご了承ください。

商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名、および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
目次	3
用語集	4
1 概要	5
2 PDF への変換	6
2.1 プリンターの各種設定	6
2.2 PDF に変換する	9
3 変換ユーティリティ	14
3.1 変換ユーティリティ画面の起動	14
3.2 変換ユーティリティの設定	15
3.3 複数 PDF の結合	16
3.4 PDF の分割・ページ抽出	17
3.5 複数ファイルの一括 PDF 出力	18
3.6 フォームデータの抽出	20
4 捺印	23
4.1 捺印に関する設定	23
4.2 捺印する	30
4.3 インプレットで捺印する	32
4.4 ハイブリッド署名を追加する	33
5 PDF 印鑑の捺印	35
5.1 PDF 印鑑の設定	36
5.2 PDF 印鑑で捺印する	37
5.3 PDF 印鑑の捺印履歴を確認する	39

用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

- ※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
SkyPDF Viewer	当社が無償配布している PDF 閲覧ソフト PDF ファイルの閲覧機能のみの提供となり、編集・作成はできない ダウンロードページ： https://www.skycom.jp/free/
SkyPDF Standard	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Viewer が提供する機能に加えて、PDF 作成機能や編集機能を備えている
SkyPDF Professional	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Standard の上位版となり、Standard が提供する機能に加えて、高度な PDF 編集機能を備えている
SkyPDF Pro Driver	本製品(SkyPDF Viewer を除く)が提供する仮想プリンター プリンターに指定して印刷を実行することで、PDF ファイルを作成することができる
SkyPDF V4 Driver	本製品（SkyPDF Viewer を除く）が提供する仮想プリンター Microsoft のプリンタードライバーアーキテクチャー バージョン 4 に基づくプリンタードライバー SkyPDF Pro Driver の後継機にあたる
Word	別紙「SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Word を指す
Excel	別紙「SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Excel を指す
PowerPoint	別紙「SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office PowerPoint を指す
Office	Word / Excel / PowerPoint の 3 つを指す
アドイン機能	Office のリボンに、本製品のアイコンを登録する機能
環境設定	本製品の各種設定を行うための機能 [ツール]メニューか、あるいはツールバーのアイコンから
しおり	目次のように、各見出しへのリンクが付けられているもの
Touch Ink for win オプション	SkyPDF Professional のオプション製品である SkyPDF Touch Ink for win を指す インク入力機能を備えている

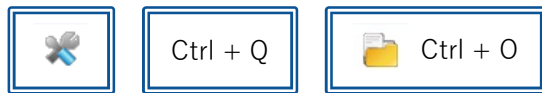
1 概要

SkyPDF Standard / Professional 7 では、PDF の作成や編集が可能です。
本書では、SkyPDF Standard / Professional 7 で共通する以下の機能について説明します。

- PDF の作成
- 捺印
- PDF 印鑑
- 変換ユーティリティ

ただし、一部 SkyPDF Professional 7 かそれと同等の製品でしか設定できない項目の説明もあります。
その場合は「※ Professional エディションのみ」などの注意書きを記載します。

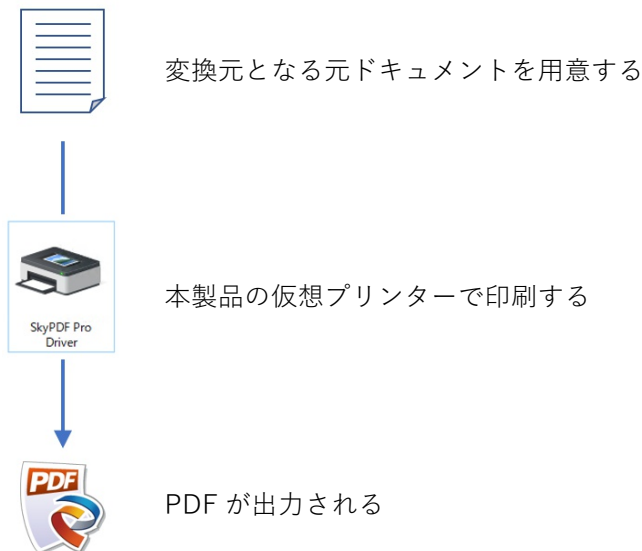
また、ツールバーにアイコンがある操作、ショートカットキーがある操作、その両方がある操作は、



のようにアイコンとショートカットキーを記載します。

2 PDF への変換

本製品が提供する仮想プリンターを使えば、様々なアプリケーションで作成した様々な形式のファイルを PDF に変換することができます。



2.1 プリンターの各種設定

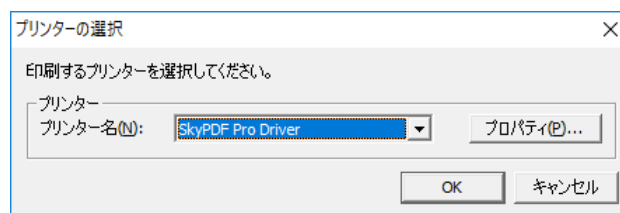
2.1.1 プリンターの選択

本製品が提供する PDF 作成用の仮想プリンターは 2 種類あり、インストール時に設定した台数がインストールされています。

どのプリンターを使って PDF を出力するかは、印刷の際に選択してください。

SkyPDF Pro Driver	旧製品と同様の従来機
SkyPDF V4 Driver	Microsoft のプリンタードライバーアーキテクチャー バージョン 4 に基づく プリンタードライバー SkyPDF Pro Driver の後継機にあたる

エクスプローラの機能拡張（右クリックメニューの「SkyPDFでPDFへ変換」）や、MS Word / Excel / PowerPointに登録したアイコン（SkyPDFアドイン機能）で使用するプリンターは、初回実行時に次のようなダイアログが表示され、選択できます。

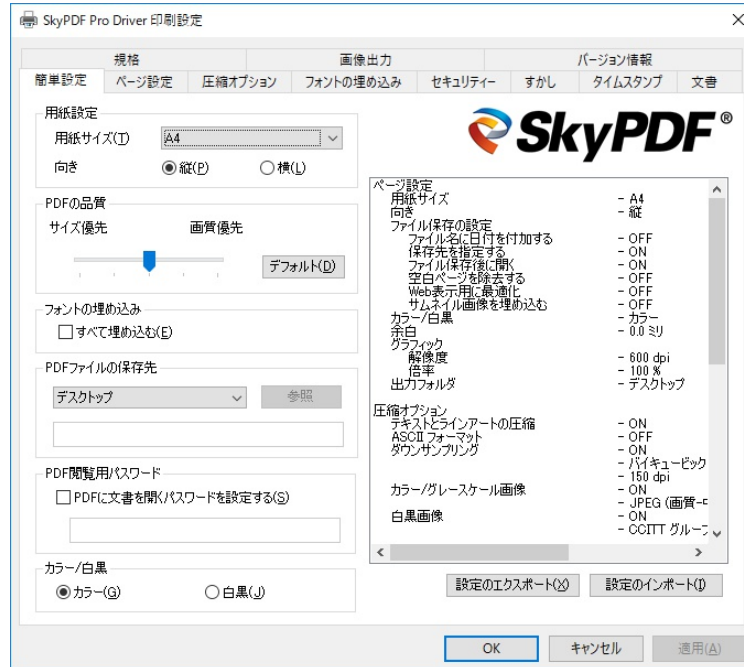


※ SkyPDF セットアップ画面の「印刷設定」からいつでも変更可能です。
(参照：[2.1.3 SkyPDF セットアップ](#))

2.1.2 印刷設定

どのようなPDFを作成するのは、すべてプリンターの印刷設定画面から設定します。
印刷設定の詳細は、それぞれ別紙のマニュアルを参照してください。

SkyPDF Pro Driverの印刷設定 (別紙参照：SkyPDFProDriver_印刷設定マニュアル)



SkyPDF V4 Driverの印刷設定 (別紙参照：SkyPDFV4Driver_印刷設定マニュアル)

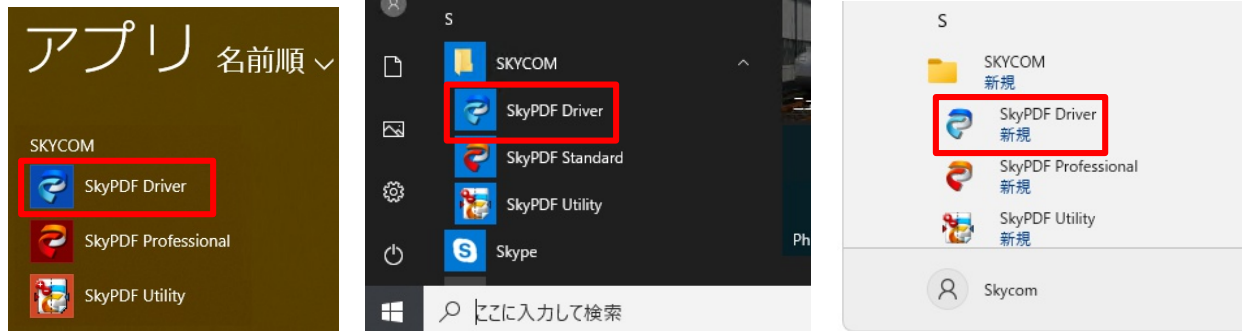


2.1.3 SkyPDF セットアップ

SkyPDF Pro DriverとSkyPDF V4 Driverは、ファイルの右クリックメニューや、Microsoft Office Word / Excel / PowerPointのリボンから、PDF変換を実行することができます。

この機能を有効にする場合は、SkyPDF セットアップ画面を起動し、該当するチェックボックスをONにしてください。

SkyPDF セットアップ画面は、スタートメニューの「SkyPDF Driver」実行で起動できます。



SkyPDF セットアップ

SkyPDFで利用したいサービスを選択してください。

システムにPDF変換アイコンを追加する
☒ Explorer **Explorerの機能拡張設定変更は、Administrator権限が必要です。**

Microsoft OfficeにSkyPDFのアドインを追加する
☒ Word ☒ Excel ☒ PowerPoint

Microsoft OfficeにFormPDF Makerのアドインを追加する
☒ Word ☒ Excel ☒ PowerPoint

印刷設定

PDF 変換アイコン

SkyPDFでPDFへ変換

SkyPDF アドイン機能
Microsoft Office のリボンに「SkyPDF」タブを追加します。（参照：2.2.4 Office の SkyPDF リボンから変換する）
Microsoft Office がインストールされていない場合、アドインの追加を有効にしても反映はされません。

FormPDF Maker アドイン機能
Microsoft Office のリボンに「FormPDF Maker」タブを追加します。SkyPDF SmartWorker オプション利用者にのみ表示され、設定できる機能です。

プリンターの選択・設定
プリンターを複数台インストールした場合、エクスプローラの機能拡張と SkyPDF アドイン機能で使用するプリンターを選択できます。
1 台のみインストールした場合はそのプリンターの印刷設定を変更できます。

プリンターの選択

印刷するプリンターを選択してください。

プリンター
プリンター名(N): SkyPDF Pro Driver プロパティ(P)...

OK キャンセル

※ ここでのアドインの設定と印刷設定は、ユーザーアカウント別に保存されます。ただし、Officeを管理者として実行すると、アドインに関する設定はインストール時の設定で表示されます。

2.2 PDF に変換する

2.2.1 「印刷」メニューから変換する

アプリケーションから物理プリンターを使用して文書を印刷するときと同様に、SkyPDF Pro DriverまたはSkyPDF V4 Driverを使用して、元ドキュメントのPDFファイルを作成することができます。

ここでは例として、Microsoft WordでPDFを作成する方法を説明します。

画面の項目名などは、アプリケーションによって異なる場合があります。

1. PDFに変換したいWordファイルを開き、[ファイル]－[印刷]から印刷画面を開きます。

2. プリンターとして
SkyPDF Pro Driver、または、
SkyPDF V4 Driverを選択します。

3. 「印刷」を押すとPDFとして出力されます。



4. 名前をつけて保存ダイアログボックスが表示された場合は、PDFを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して、[保存]を押します。

2.2.2 ドラッグ & ドロップ操作で変換する

※ ドラッグ&ドロップとは：マウスボタンを押したままファイルアイコン等を移動させる操作

デスクトップ上にある本製品ショートカットアイコンの上に、元ドキュメントとなるファイルをドラッグ&ドロップすると、拡張子に関連付けられたアプリケーション（例：*.docxならWord、*.xlsxならExcelなど）が自動的に起動し、PDF変換（印刷処理）を行います。

1. PDFファイルを生成したい対象元ファイルをデスクトップ上の「SkyPDF Professional」または「SkyPDF Standard」アイコンにドラッグ&ドロップします。



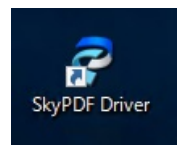
2. 名前をつけて保存ダイアログボックスが表示された場合は、PDFを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して、[保存]を押します。

※ 初回実行時はプリンターの選択画面が表示されます。SkyPDF セットアップ画面の [印刷設定] からいつでも変更可能です。（参照：[2.1.3 SkyPDF セットアップ](#)）

※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF を生成できない場合があります。その場合には、アプリケーションの [印刷] メニューから PDF 変換を行ってください。
（参照：[2.2.1 \[印刷\] メニューから変換する](#)）

SkyPDF Driver アイコンへのドラッグ&ドロップ

デスクトップ上に「SkyPDF Driver」というショートカットアイコンが追加されている製品エディションでは、「SkyPDF Driver」アイコンへのドラッグ&ドロップでも同様に、PDF変換が可能です。



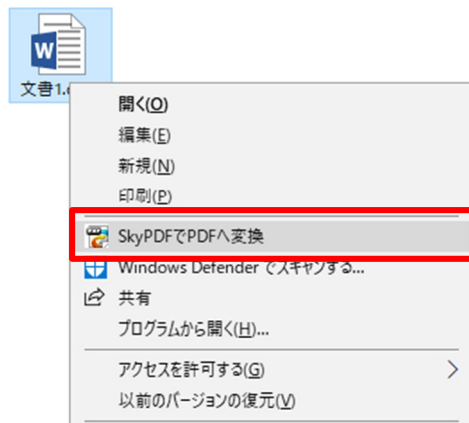
プリンターを複数台インストールした場合、使用するプリンターはアイコンのダブルクリックで選択できます。

※ 「SkyPDF Driver」アイコンで使用するプリンターとして、タイムスタンプを設定した SkyPDF Pro Driver を選択していれば、既存の PDF をドラッグ&ドロップすることで、PDF に対しタイムスタンプを追加することもできます。
ただし、PDF をドラッグ&ドロップしてタイムスタンプを付与する機能は、SkyPDF Pro Driver の機能です。SkyPDF V4 Driver しかインストールしていない場合や、アイコンをダブルクリックすると表示されるプリンター選択画面で SkyPDF V4 Driver を選択している場合は使用できません。

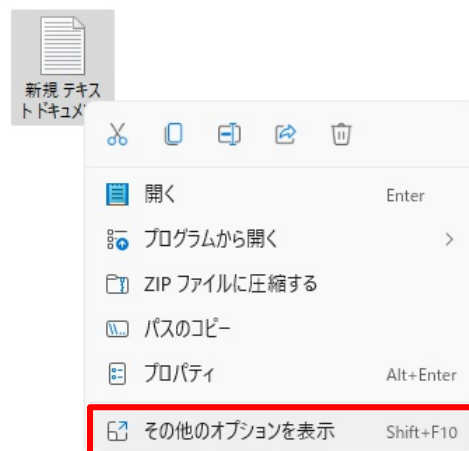
2.2.3 コンテキストメニューから変換する

システムにPDF変換アイコンを追加する（参照：[2.1.3 SkyPDF セットアップ](#)）と、ファイルを右クリックして表示されるメニューからPDFを生成することができます。

1. PDFファイル生成したい対象元ドキュメントファイルを右クリックし、右クリックメニューに表示される「SkyPDFでPDFへ変換」を選択します。
拡張子に関連付けられたアプリケーションが自動的に起動し、PDFファイルの生成が実行されます。



Windows 11の場合、右クリックメニューに「SkyPDFでPDFへ変換」を表示するには、「その他のオプションを表示」を選択する必要があります。



2. 名前をつけて保存ダイアログボックスが表示された場合は、PDFを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して、「保存」を押します。

- ※ 初回実行時はプリンターの選択画面が表示されます。SkyPDF セットアップ画面の「印刷設定」からいつでも変更可能です。（参照：[2.1.3 SkyPDF セットアップ](#)）
- ※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF を生成ができない場合があります。その場合には、アプリケーションの「印刷」メニューから PDF 変換を行ってください。（参照：[2.2.1 「印刷」メニューから変換する](#)）

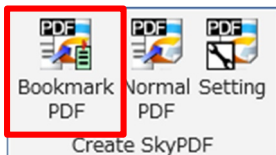
2.2.4 Office の SkyPDF リボンから変換する

SkyPDFアドイン機能（参照：[2.1.3 SkyPDF セットアップ](#)）を有効にすると、OfficeにSkyPDFリボンが追加されます。SkyPDFリボンでは、しおりとリンクが付いたPDFと、しおりやリンクの無いPDFが作成できます。



- ※ [Bookmark PDF] と [Normal PDF] の初回実行時は、プリンターの選択画面が表示されます。[Setting] からいつでも変更可能です。
- ※ アプリケーションの種類やファイルの内容によっては、正常に PDF を生成ができない場合があります。その場合には、アプリケーションの [印刷] メニューから PDF 変換を行ってください。
(参照：[2.2.1 \[印刷\] メニューから変換する](#))
- ※ Excel では、選択している 1 シートのみ PDF 生成が可能です。
- ※ PowerPoint では、読み取り専用の文書の PDF 作成はできません。
- ※ PowerPoint 上で変更履歴の表示設定をしているファイルの変換は動作保証外です。

Bookmark PDF



[Bookmark PDF] を押すと、現在開いているドキュメントを、しおり・リンク付きのPDFに変換します。

「しおり」は、PDFを開いたときに表示される見出しの一覧です。クリックすると該当ページにジャンプします。PDFビューアーによっては「目次」や「ブックマーク」と呼ぶこともあります。
「リンク」は、元ドキュメントのハイパーリンクをリンク注釈としてPDFに追加するものです。

しおりとリンク注釈の対象は、アプリケーションによって以下のように異なります。

Word

- ・ "見出し"スタイルを検知し、しおりとして設定します。（“見出し”という文言が名前に含まれるスタイルのみで、見出し 1～9まで対応）
- ・ ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

Excel

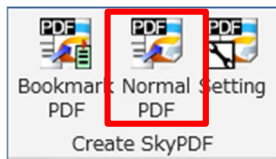
- ・ "シート名"を検知し、しおりとして設定します。（選択された1シート目のみ）
- ・ **リンク注釈は動作しません。**

PowerPoint

- ・ "スライドのタイトル"を検知し、しおりとして設定します。（タイトルが無い場合、スライド番号が "スライド番号1" という形式で検知される）
- ・ ハイパーリンク情報を検知し、リンク注釈を付与します。

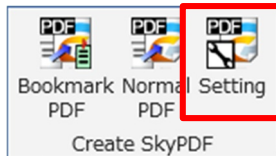
- ※ [Bookmark PDF] で PDF 作成をした場合にかぎり、同一ページ内の複数行の URL リンクが有効です。

Normal PDF

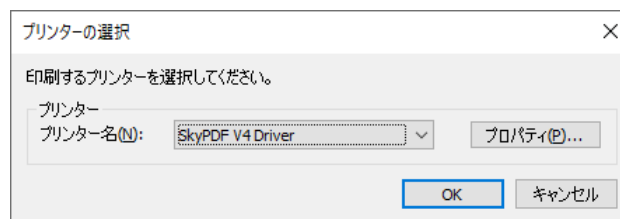


「Normal PDF」を押すと、現在開いているドキュメントをしおり・リンクの無い PDFに変換します。

Setting



「Setting」を押すと、プリンターの選択画面を開きます。



プルダウンメニューから「Bookmark PDF」および「Normal PDF」実行時に使用するプリンターを選択できます。

「プロパティ」を押すと、プリンターの印刷設定画面（参照：[2.1.2 印刷設定](#)）を起動できます。

3 変換ユーティリティ

変換ユーティリティとは、本製品が提供する以下の機能を備えたツールです。

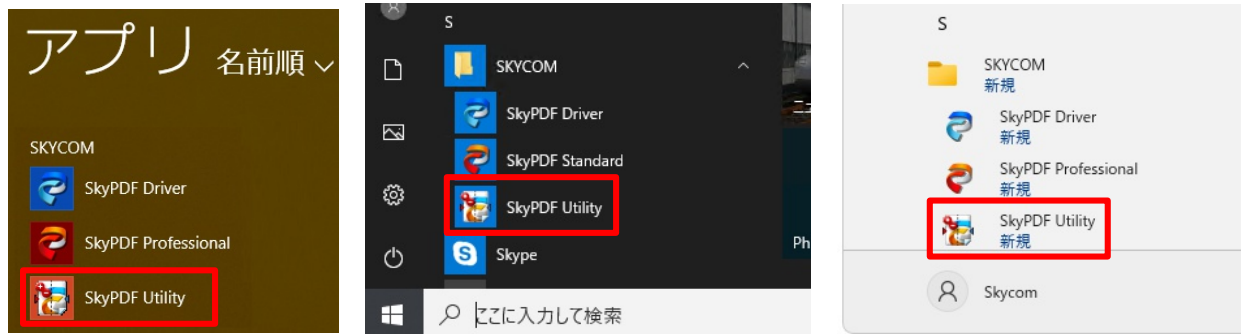
- PDF 結合 …… 複数の PDF をひとつにまとめる機能
- 分割/ページ抽出 …… 複数ページの PDF に対し、分割・ページの抽出を行う機能
- 一括 PDF 出力 …… 複数の文書ファイルや画像ファイルを一度に PDF 変換する
- フォームデータ抽出 …… フォームデータを抽出し、CSV または XML ファイルに出力する
(SmartWorker オプション利用時のみ)

3.1 変換ユーティリティ画面の起動

起動方法は2通りあります。

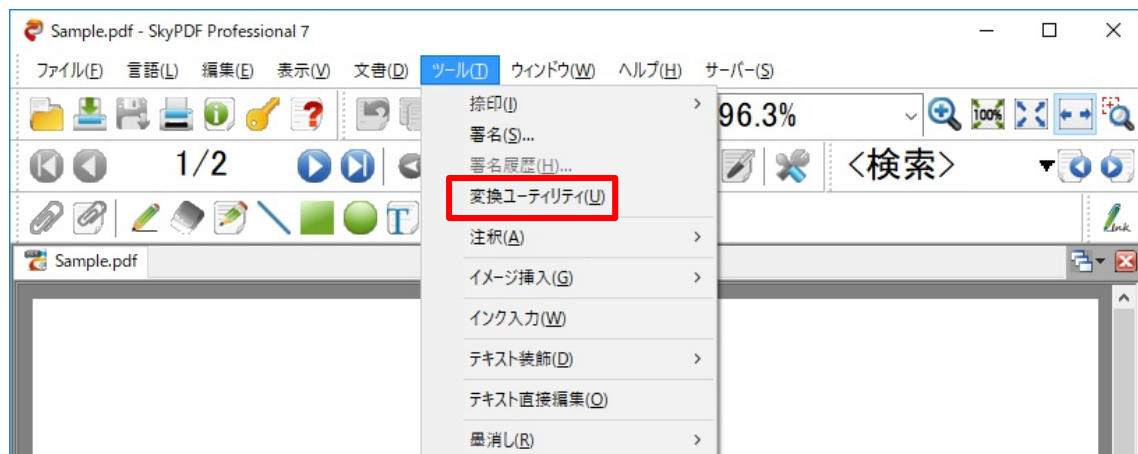
方法1

スタートメニューの「SkyPDF Utility」実行で起動します。



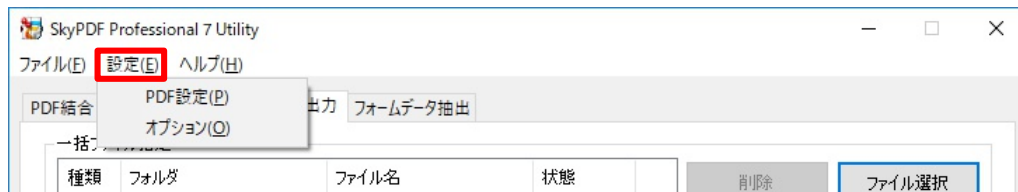
方法2

本製品の「ツール」メニューから「変換ユーティリティ」を選択して起動します。



3.2 変換ユーティリティの設定

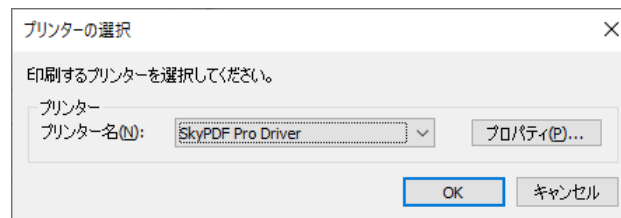
変換ユーティリティは「設定」メニューから「PDF設定」と「オプション」を選択できます。



3.2.1 PDF 設定

「一括PDF出力」タブを開いているときのみ、「PDF設定」を選択すると、一括PDF作成に使用するプリンターの設定が可能です。PDF作成用仮想プリンターの詳細は、各マニュアルを参照してください。

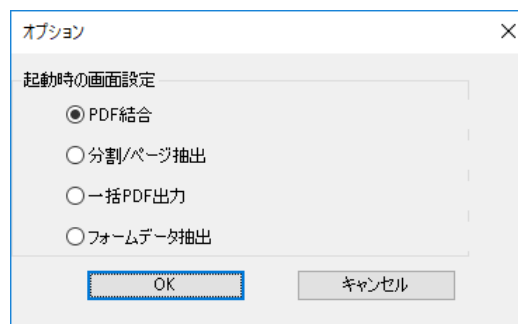
PDF作成に使用できるプリンターが複数ある場合は、プリンターの選択画面が表示されます。



3.2.2 オプション

「オプション」を選択すると、起動時の画面設定が表示されます。

ここでは、変換ユーティリティを起動した際に、初期表示されるタブを設定できます。



3.3 複数 PDF の結合

[PDF結合] タブでは、複数のPDFを1つのファイルにまとめることができます。

1. [ファイル選択] を押して、対象ファイルを指定します。
2. 出力フォルダと出力ファイル名を指定します。
3. [結合開始] を押します。



注意

- ・ セキュリティーが設定されたPDFや、署名が付与されたPDFは結合できません。
- ・ 同名ファイルが存在する場合、上書き許可の警告メッセージが表示されます。

3.4 PDF の分割・ページ抽出

「分割/ページ抽出」タブでは、1つのPDFを複数のPDFに分割できます。
また、指定したページを抽出し、新しいPDFとして出力することもできます。

1. 「ファイル選択」を押して、対象ファイルを指定します。
2. 分割/ページ抽出方法を指定します。
3. 出力フォルダと出力ファイル名を指定します。
4. 「分割開始」を押します。

分割する PDF ファイルを指定
ドラッグ＆ドロップでも追加可能

読み込み済みのファイルを選択して削除

プレビューを表示

表 3-1 参照

分割（抽出）後の PDF ファイルの
保存先を指定
[元ファイルと同じフォルダに
PDF を出力する] にした場合は、
パスの編集は不可

表 3-2 参照

同名ファイルが存在する場合は、
すべて上書きされる（上書きの警
告メッセージは表示されない）

表 3-1 分割/ページ抽出方法

項目	詳細
1 ページずつ分割	元 PDF を 1 ページずつの PDF として分割
枚数指定	指定した枚数ごとに PDF を分割
区切りページ指定	指定したページで区切って抽出
奇数ページ抽出	奇数ページのみを抽出
偶数ページ抽出	偶数ページのみを抽出

表 3-2 出力ファイル名 (分割/ページ抽出)

項目	詳細
元ファイル名+数値連番	元ファイル名の後ろに数値連番を付与 連結文字列なし : ファイル名 1、ファイル名 2・・・ ハイフン : ファイル名-1、ファイル名-2・・・ アンダーバー : ファイル名_1、ファイル名_2・・・
別名+数値連番	任意のファイル名の後ろに数値連番を付与 連結文字列なし : ファイル名 1、ファイル名 2・・・ ハイフン : ファイル名-1、ファイル名-2・・・ アンダーバー : ファイル名_1、ファイル名_2・・・

※ 使用できない文字・・・¥ / : * ? “ < >

注意

セキュリティが設定されたPDFは分割・抽出できません。

3.5 複数ファイルの一括 PDF 出力

〔一括PDF出力〕タブでは、複数のOffice文書やテキストファイル、画像ファイル等を一括でPDFファイルに変換することができます。

対応ファイルは以下のとおりです。

文書ファイル	(Office) .doc / .docx / .xls / .xlsx / .ppt / .pptx / .vsd (一太郎) .jtd (テキストファイル) 拡張子は別途設定可
画像ファイル	.jpg / .jpeg / .jpe / .jp2 / .jfif / .bmp / .dib / .gif / .png / .tiff / .tif

注意

- ・ タイムスタンプ付与はできません。
- ・ 複数シートで構成されているExcelファイルは、印刷品質が同一の場合のみ「ブック全体」でPDFが作成されます。印刷品質が統一されていない場合は、全シートのPDF変換ができない場合があります。
- ・ 複数シートで構成されている一太郎ファイルは、最終のシートのみ変換されます。
- ・ 画像ファイルをPDF出力する場合は、SkyPDF Pro Driverの設定は反映されません。

1. 〔ファイル選択〕を押して、PDF変換を行う対象ファイルを指定します。
フォルダ内のファイルをすべてPDF変換する場合は、フォルダ指定を行います。
テキストファイルとして出力したいファイルがある場合は、その拡張子を指定します。
2. 出力フォルダと出力ファイル名を指定します。
3. 〔一括出力開始〕を押します。

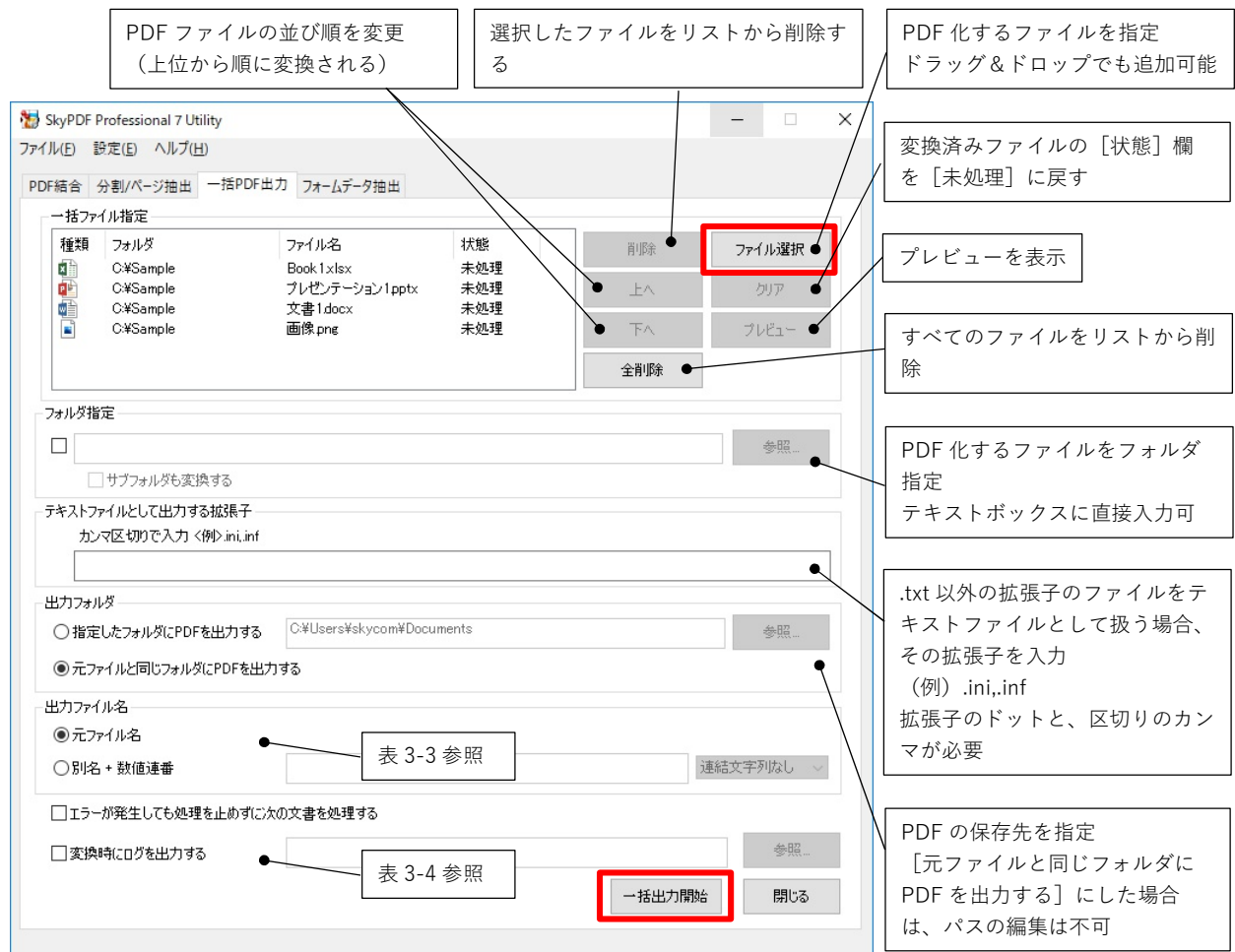


表 3-3 出力ファイル名 (一括 PDF 出力)

項目	詳細
元ファイル名	元のファイル名のまま出力
別名+数値連番	指定した文字列の後ろに数値連番を付与 連結文字列なし： ファイル名 1、ファイル名 2・・・ ハイフン： ファイル名-1、ファイル名-2・・・ アンダーバー： ファイル名_1、ファイル名_2・・・

表 3-4 一括 PDF 出力のチェックボックス

項目	チェックの状態	詳細
エラーが発生しても処理を止めずに次の文書进行处理する	ON	エラーにならないファイルの PDF 生成は実施
	OFF	処理がタイムアウトとなるファイルが存在した場合、その時点で処理されていない残りのファイルも処理が中止される
変換時にログを出力する	ON	生成時にログを出力する ON にしたまま出力先を指定しないと「ログを出力できません。チェックを外すか、出力フォルダを指定してください。」のメッセージ表示 ログファイル名は「Skyutil」+日付 例：2015 年 12 月 23 日の場合 skyutil20151223.txt
	OFF	ログ出力しない

3.6 フォームデータの抽出

SmartWorkerオプション利用時は、[フォームデータ抽出] タブが使用可能です。

[フォームデータ抽出] タブでは、PDFファイルに含まれるフォームデータを抽出し、CSVファイルまたはXMLファイルに出力できます。

1. [ファイル選択] または [フォルダ選択] を押して、対象ファイルを指定します。

※ [フォルダ選択] からフォルダを選択すると、選択したフォルダ直下にあるすべてのPDFファイルが対象ファイルとなります。サブフォルダは対象外です。

2. 出力形式と出力フォルダを指定します。

3. [抽出開始] を押します。



表 3-5 出力形式（フォームデータ抽出）

項目	詳細
CSV :	PDF から抽出したデータを、カンマ区切りの CSV ファイルとして出力する PDF ファイル名（PDF FileName）、PDF のフォルダー名（PDF Folder）、抽出処理の結果（Result）は必ず出力される
PDF ごとにファイルに出力（水平方向にデータ出力）	1つのPDFから抽出したフォームデータを、1つのCSVファイルに出力する ファイル名：<元ファイル名>.csv 1行目：項目名 ^{*1} 2行目：データ (例) Sample1.csv <div> PDF FileName, PDF Folder, Result, "txt_1", "txt_2" Sample1.pdf, C:\test, Success, "空山", "太郎" </div>

PDF ごとにファイルに出力（垂直方向にデータ出力）	1つのPDF から抽出したフォームデータを、1つのCSV ファイルに出力する ファイル名：<元ファイル名>.csv 1 列目：項目名※ ¹ 2 列目：データ (例) Sample1.csv PDF FileName, Sample1.pdf PDF Folder, C:\test Result, Success "txt_1", "空山" "txt_2", "太郎"
テンプレート PDF を指定し、全ファイルまとめて出力する	指定したテンプレート PDF のフィールド名と一致するデータを、リストのすべてのPDF ファイルから抽出し、1つのCSV ファイルにまとめて出力する ファイル名：<テンプレート PDF のファイル名>.csv 1 行目：テンプレート PDF をもとにした項目名※ ¹ 2 行目：テンプレート PDF のデータ 3 行目以降：リストにある PDF ファイルのデータ (例) Template.pdf PDF FileName, PDF Folder, Result, "txt_1", "txt_2" Template.pdf, C:\test, Success, "", "" Sample1.pdf, C:\test, Success, "空山", "太郎" Sample2.pdf, C:\test, Success, "雲野", "花子" Sample3.pdf, C:\test, Success, "晴川", "次郎"
XML：PDF ごとにファイルに出力	1つのPDF から抽出したフォームデータ※ ¹ を、1つのXML ファイルに出力する ファイル名：元ファイル名.xml ※ 当社別製品 SkyPDF ToolsSDK III の GetInputXmlData 関数で取得できるXML データと同等です。

表 3-6 テンプレートPDF指定

項目	詳細
PDF リスト最上段のファイルをテンプレートPDFとする	PDF リスト上にあるPDFのうち、最も上段にあるPDFをテンプレートPDFとする
テンプレートPDFとするファイルを指定する	[参照] を押してテンプレートPDFを指定する

表 3-7 フォルダ指定（フォームデータ抽出）

項目	詳細
指定したフォルダに出力する	[参照] を押すと、CSV ファイルまたは XML ファイルの出力先となるフォルダを指定できます（最大文字数：244 字） 存在しないフォルダや、書き込み権限がないフォルダには出力できない
元ファイルと同じフォルダに出力する	データ抽出対象である元の PDF ファイルと同じフォルダに出力される
テンプレートPDFと同じフォルダに出力する	[CSV：テンプレートPDFを指定し、全ファイルまとめて出力する] 指定時に選択可
同名ファイルが存在した場合、連番を付与して出力する	オフの場合、出力先に同名ファイルが存在するときは上書き保存される オンの場合、ファイル名の末尾に連番を付与して別名保存される
エラーが発生しても処理を止めずに次の文書処理する	オンにすると、エラーが発生しても処理を止めず、次のファイルの抽出処理を続行する 処理の結果は、リストの「状態」列で確認できる

- ※1 抽出の結果、CSVファイルにはヘッダーとして、XMLファイルにはタグ名として、各フォームフィールド名が出力されます。フィールド名に、「XMLのタグ命名規則で使えないとされる文字」が含まれる場合、文字コードに置換して抽出されるか抽出エラーとなります。
- ・半角または全角の空白 (例) 「グループ化 1」⇒「グループ化_x0020_1」
 - ・全角英数字
 - ・全角の記号 (!"#\$%&'=^~¥|@` ; + *、。 . < > / ・ ? など)
 - ・半角の記号 (!"#\$%&'=~|@`;+*,.<>/? など)
 - ・フィールド名先頭の半角数字・半角ピリオド・半角マイナス記号
など

4 捺印

シヤチハタ株式会社のパソコン決裁 7 捺印ツール（以下、パソコン決裁）で作成した電子印鑑データを使用すると PDF に捺印することができます。捺印には以下の準備が必要です。

- ① 印鑑データファイル (*.DSM)
- ② ①を使用するためのユーザ名とパスワード
- ③ インプレット（任意）

なお、パソコン決裁と本製品が同じ PC にインストールされている環境では、捺印に関する画面や操作手順が異なる場合があります。

4.1 捺印に関する設定

4.1.1 環境設定の [捺印] タブ

環境設定の [捺印] タブでは、捺印に電子署名を追加する際の設定や、捺印音、インプレット捺印種別を設定できます。

環境設定

※ Professional エディションのみ

捺印時に選択： 電子証明書を付けるかどうかを捺印ごとに指定
電子署名なし： 捺印を電子署名として使用しない
電子署名あり： 捺印に電子証明書を追加する

※ Professional エディションのみ
(捺印の種別として [署名] 選択時)
捺印時に使用する証明書の種別を指定

※ Professional エディションのみ
電子署名の署名者情報を指定

捺印時に効果音を鳴らす設定
[再生] で音の確認可能

インプレットで捺印する場合の設定

※ Professional エディションのみ
使用する印鑑データのユーザ名とパスワード

ユーザ認証

ユーザ名、パスワードを入力してください。

ユーザ名(N):
パスワード(P):
☐ ユーザ名を保存(U)

OK キャンセル

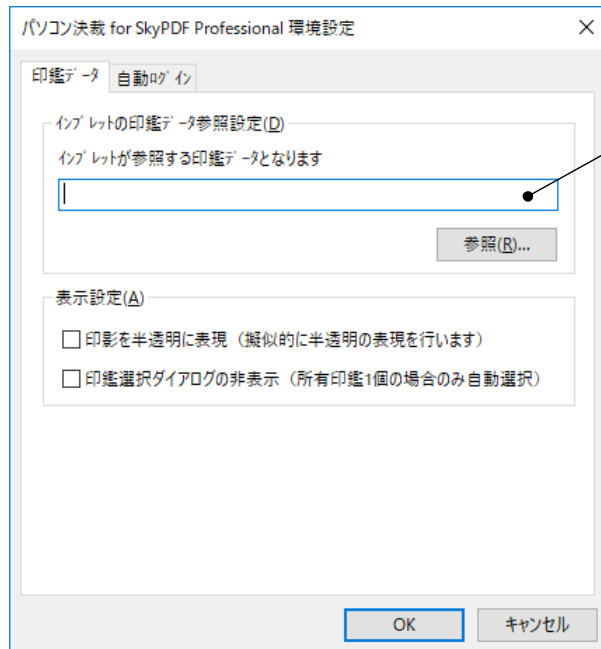
証明書コンテナ

ファイル名	所有者	発行者	有効期限
証明書ファイルの追加(A)... 証明書ストアから追加(S)... 標準利用の設定/解除(U)			
証明書詳細(D) 証明書の削除(D) 閉じる			

※ Professional エディションのみ
証明書コンテナ機能（印鑑データファイルごとに複数の証明書を設定可能にする機能）を利用する場合に設定する

4.1.2 インプレットの印鑑データ設定

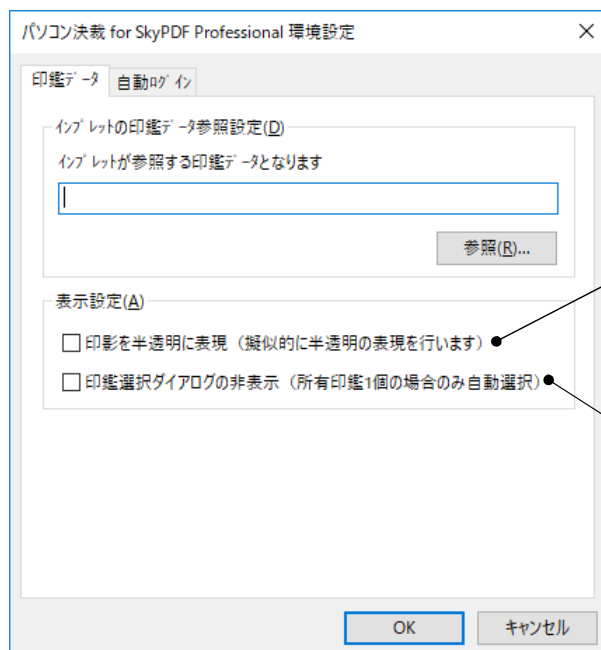
【ツール】メニューの【捺印】－【設定】で、インプレット使用時に使う印鑑データファイルを設定できます。



インプレットを使用して捺印する際に使用する印鑑データファイルを指定

4.1.3 印鑑データの表示設定

【ツール】メニューの【捺印】－【設定】で、捺印に使用する印鑑データの表示と印鑑選択ダイアログの表示について設定できます。



印影を擬似的に半透明にする
OFF の場合 ON の場合



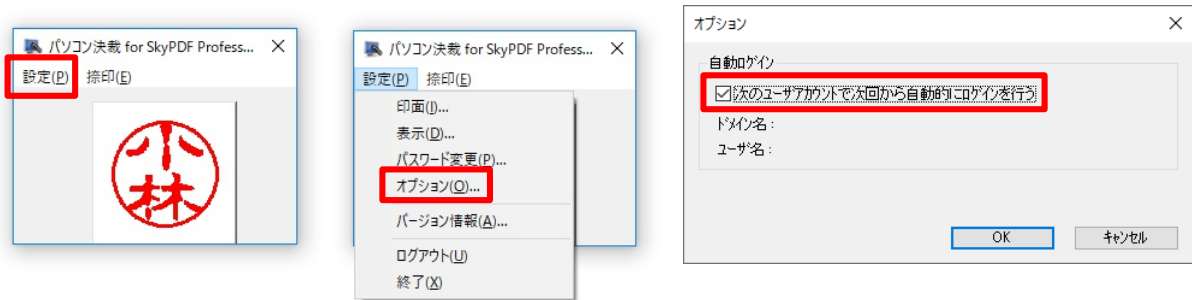
所有する印鑑データが1つだけある場合、自動
選択する
パソコン決裁がインストールされている環境で
のみ機能する

4.1.4 自動ログインの設定と解除

自動ログインを設定すると、ユーザ名とパスワードの入力などを省略し、[捺印] 実行ですぐにマウスポインターを捺印モードにすることができます。

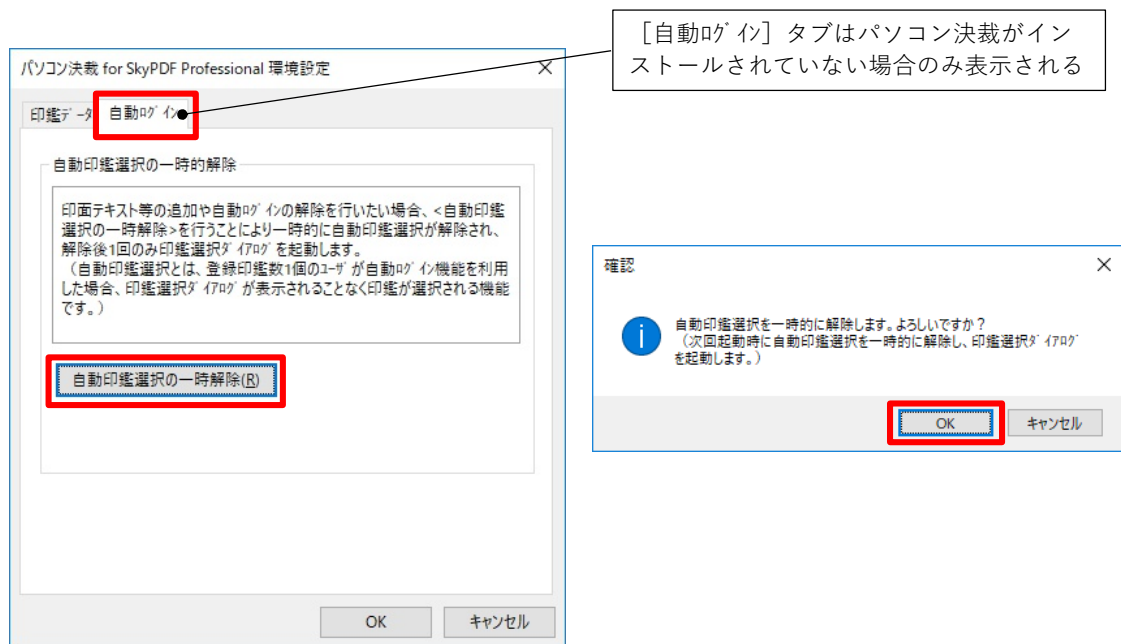
パソコン決裁がインストールされていない場合

ログイン後に表示される印鑑選択ダイアログの [設定] - [オプション] で、自動ログインが設定できます。



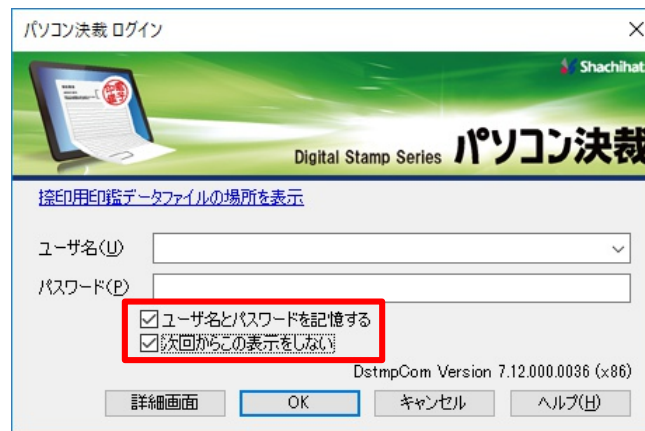
自動ログインを解除する場合は、[ツール] - [捺印] - [設定] で設定画面を開き、[自動ログイン] タブの [自動印鑑選択の一時解除] を実行します。

自動印鑑選択を一時的に解除した後、[捺印] を実行し、一度だけ表示される印鑑選択ダイアログの [設定] - [オプション] で、自動ログイン設定を解除してください。

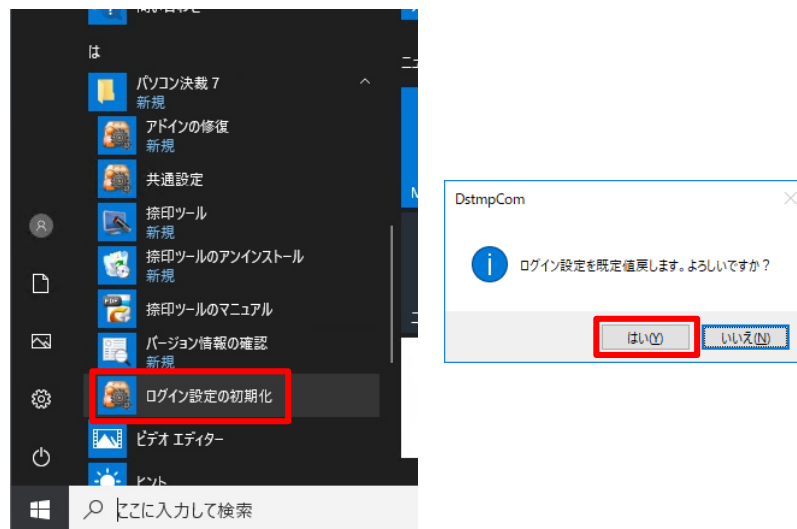


パソコン決裁がインストールされている場合

ログイン画面の「ユーザー名とパスワードを記憶する」と「次回からこの表示をしない」のチェックを有効にすると、次回から自動的にログインします。



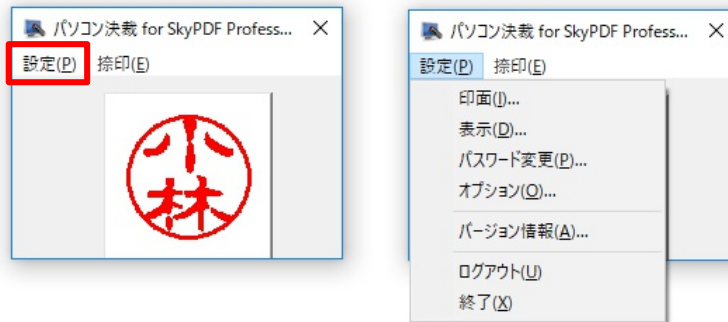
自動ログインを解除する場合は、スタートメニューから「パソコン決裁7」の「ログイン設定の初期化」を実行します。



4.1.5 パソコン決裁の [設定] メニュー

[ツール] - [捺印] - [捺印] の順に選択し、ログイン後に表示される印刷設定ダイアログの [設定] メニューで、パソコン決裁の各種設定が可能です。

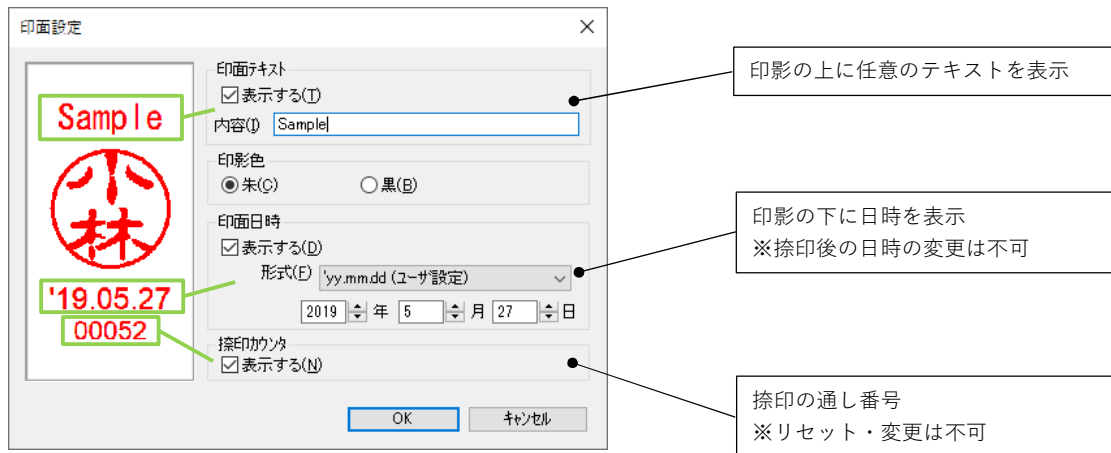
 Ctrl + I



※ ログイン画面と印鑑選択ダイアログが表示されず、マウスポインターが捺印モードになる場合は、自動ログインの設定を一度解除してください。(参照：[4.1.4 自動ログインの設定と解除](#))

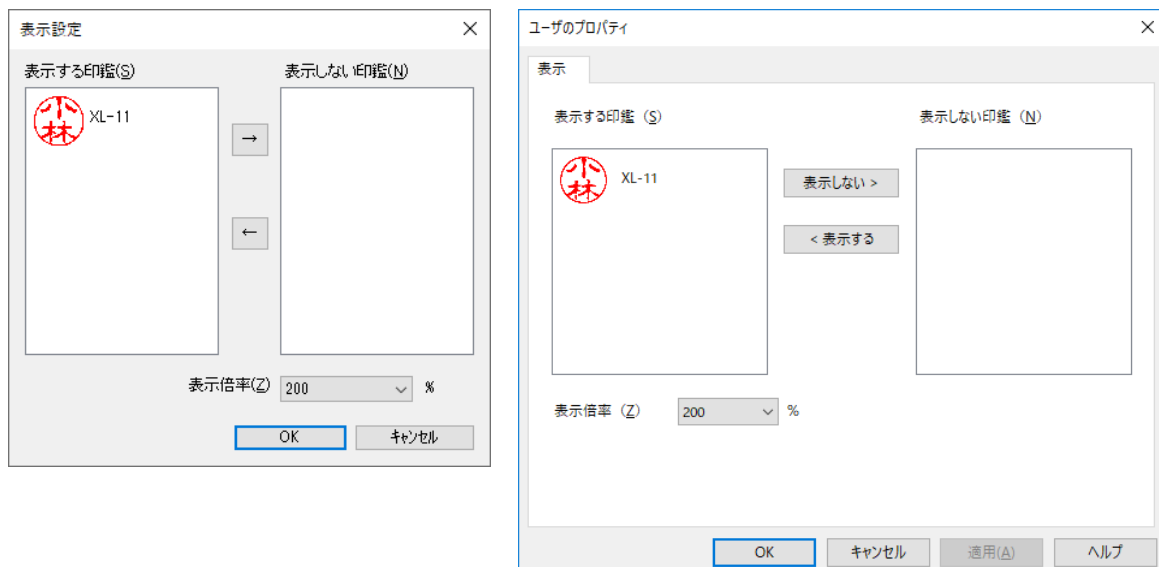
印面

印面のデザインを設定します。



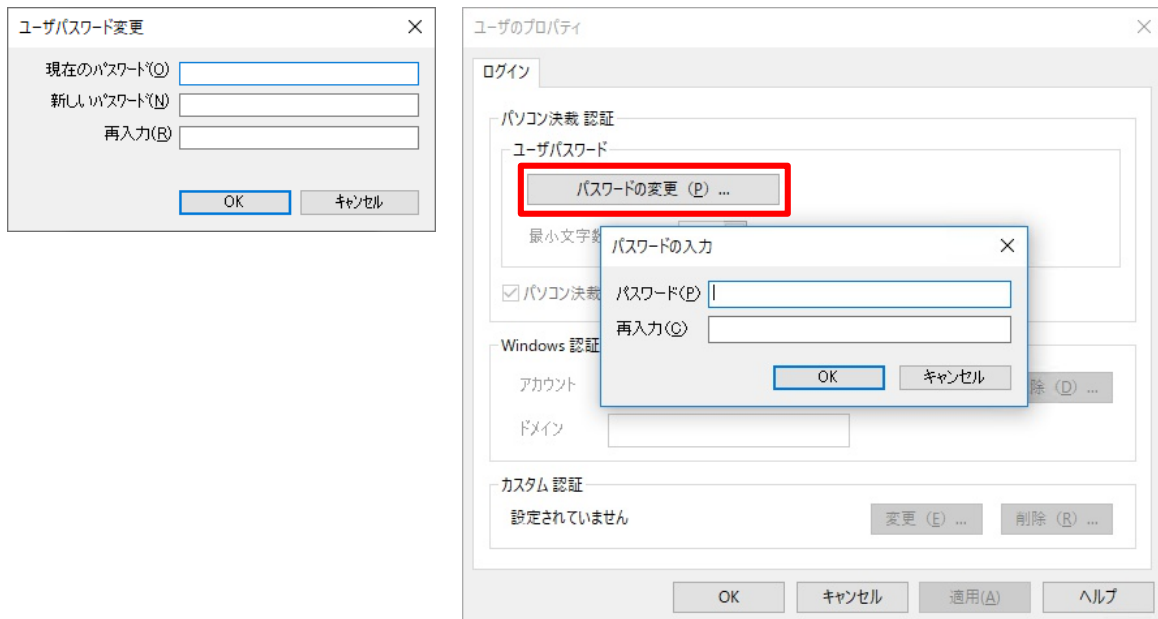
表示

使用できる印鑑が複数ある場合、[→] [←] のボタンまたは [表示しない >] [< 表示する] のボタンで捺印時に表示する印鑑を設定します。



パスワード変更

印鑑データファイルのパスワードを変更できます。

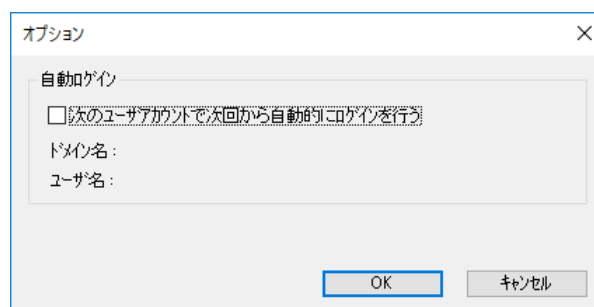


オプション

自動ログインの設定および設定解除ができます。

パソコン決裁がインストールされていない場合のみ表示されます。

(参照: [4.1.4 自動ログインの設定と解除](#))



バージョン情報

バージョン情報の確認ができます。

ログアウト

ログアウトし、ログイン画面に戻ります。

※ パソコン決裁がインストールされているとログアウトできない場合があります。

終了

捺印を中止して終了します。

4.1.6 ハイブリッド署名設定

ハイブリッド署名を行う場合、[ツール] メニューの [ハイブリッド署名設定] で、タイムスタンプサービスの設定を行います。

ハイブリッド署名

使用するタイムスタンプサービス
アマノタイムスタンプサービス3161

設定はドライバーと共有されません。

ライセンス
ファイル(F): 参照(R)...
パスワード(P):

サーバー
サーバー名(S): http://tss3161e-timing.ne.jp/asdtssvr/TSRequest
タイムアウト(T): 0 秒 「0」を設定の場合、既定値を使用する。

プロキシ
☒ インターネットエクスプローラーに設定されているプロキシ設定を使用する(U)

印影設定(M)

OK キャンセル

ドライバー (SkyPDF Pro Driver) のタイムスタンプ設定と設定内容を共有するか切り替え可能

ファイル: ライセンスファイル (*.atl) のパスを直接入力するか、[参照] を押して指定
パスワード: ライセンスファイルのパスワード

サーバー名: タイムスタンプ認証の URL
タイムアウト: タイムスタンプ認証のタイムアウト値
デフォルト: 0 (5 秒)

OS のプロキシ設定を使用する

印影設定

印影設定
印影の形式(S): 角型 透過度の設定(T): 非透過

日時形式の設定
日付形式(D): 2021/01/25 時刻形式(E): 16:50

プレビュー

2021/01/25 16:50 JST
Amamo Digital Time Stamp Service

OK キャンセル

印影の形式、背景の透過度、日付/時刻形式、タイムゾーンの設定

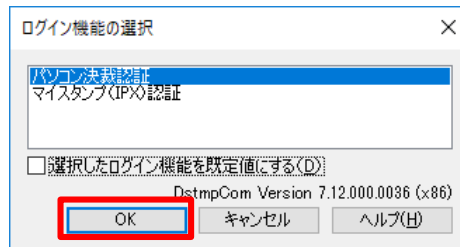
※ インプレットを使用してハイブリッド署名を追加する場合、環境設定の [捺印] タブでインプレット捺印種別の設定を行ってください。(参照: [4.1.1 環境設定の \[捺印\] タブ](#))

4.2 捺印する

1. [ツール] - [捺印] - [捺印] を選択します。



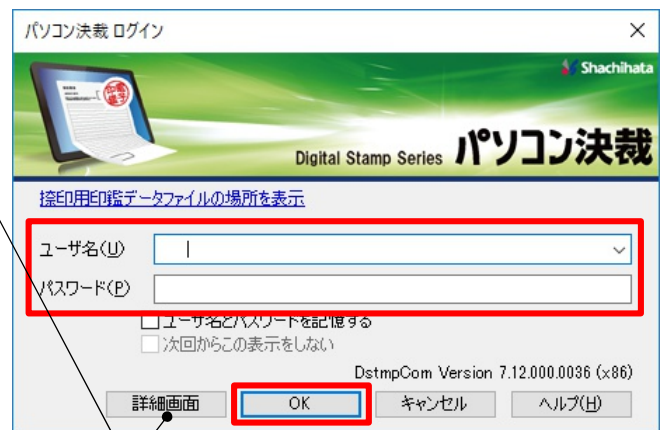
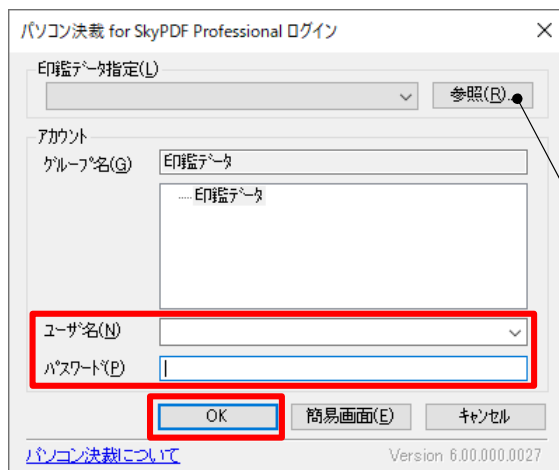
2. ログイン機能の選択画面が表示される場合は、運用に応じた機能を選択して [OK] を押します。



※ [選択したログイン機能を規定値にする] を有効にすると、次回からこの手順を省略できます。その後、ログイン機能の選択を変更する場合は、[ログイン設定の初期化] を実行して自動ログインを解除する必要があります。(参照：[4.1.4 自動ログインの設定と解除](#))

3. 必要に応じて印鑑データファイルを指定し、印鑑データファイルのユーザ名とパスワードを入力して、[OK] を押します。

※ 自動ログインが設定されている場合、この手順はスキップできます。



印鑑データファイルの変更

4. 表示された印影を確認し、[捺印] を押すか、印影イメージをダブルクリックします。

※ 印鑑選択ダイアログの非表示が設定されている場合、この手順はスキップできます。
(参照：[4.1.3 印鑑データの表示設定](#))



5. 印影がポインターの位置に表示されます。ポインターを動かして目的の位置でクリックします。



6. **Professionalエディションの場合**、捺印に署名を追加することができます。
署名を追加する際は、署名種別として「通常署名」を選択し、証明書種別を選択してください。

※ 事前に環境設定の「電子署名」タブで署名形式を「通常署名」に設定してください。

※ 電子署名の詳細はProfessionalエディション購入者向けの別紙にて説明します。

証明書選択

署名種別
☐ 電子署名なし(A) ☒ 電子署名あり(Q)

証明書種別
証明書種別に従い、以下から選択してください。
(官職証明書・職責証明書は、「証明書ストア／ICカード(S)」を選択してください。)
☒ ファイル(E) ☐ 証明書ストア／ICカード(S) ☐ マイナンバーカード(J)

署名者情報
署名理由(M):
署名場所(L): (100文字以内)

証明書(Q): 参照(N)...

パスワード(P): 詳細(D)

OK キャンセル

ファイル: 自己署名証明書を自動作成して使用する
作成した証明書はWindowsの証明書ストアにインポートされる

証明書ストア／ICカード: [参照] から既存の証明書ファイルを選択するか、証明書一覧から選択する

[参照]から選択して使用した証明書ファイルは、証明書コンテナにインポートされる

証明書一覧のうち、[C]と表示されているものは証明書コンテナにインポートされている証明書

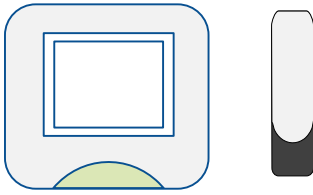
[R]と表示されているものは、Windowsの証明書ストアにインポートされている証明書

マイナンバーカード: マイナンバーカードに格納された証明書を使用する

7. 署名付きで捺印した場合は、名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。PDFを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてファイル名を編集して、[保存]を押します。
署名なしで捺印した場合は、表示しているPDFに印影が追加されます。

4.3 インプレットで捺印する

インプレットはICチップを内蔵した印鑑型のデバイスです。



1. 捺印したいPDFファイルを開きます。
2. 印面キャップをしたインプレットを専用タブレット上で動かして、印影を移動します。
3. 印影の位置が決まったら、インプレットのボタンを押して捺印します。

インプレットの詳細については、シヤチハタ株式会社の Web サイトをご覧ください。

（参考：<http://dstmp2.shachihata.co.jp/>）

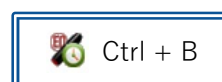
4.4 ハイブリッド署名を追加する

ハイブリッド署名は、シヤチハタ電子印鑑の捺印とアマノタイムスタンプの付与を同時に行う機能です。

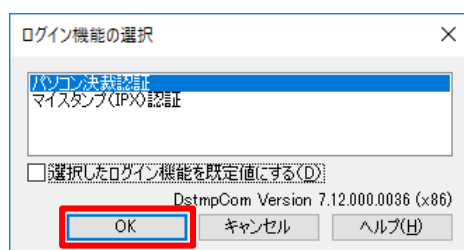
※ タイムスタンプがエラーになる場合は、PCがオンラインになっているか、必要な証明書がインポートされているか（別紙参照：SkyPDF7_ユーザーマニュアル(b.タイムスタンプ・署名の検証／鉛筆ツール））を確認してください。

1. [ツール] メニューの [ハイブリッド署名設定] で、設定が完了していることを確認します。
(参照: 4.1.6 ハイブリッド署名設定)

2. 「ツール」メニューの「ハイブリッド署名」を選択します。



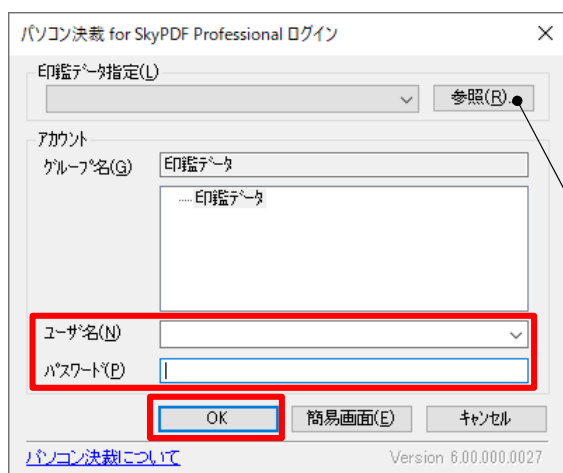
3. ログイン機能の選択画面が表示される場合は、運用に応じた機能を選択して「OK」を押します。



※ [選択したログイン機能を規定値にする]を有効にすると、次回からこの手順を省略できます。その後、ログイン機能の選択を変更する場合は、[ログイン設定の初期化]を実行して自動ログインを解除する必要があります。（参照：4.1.4 自動ログインの設定と解除）

- 必要に応じて印鑑データファイルを指定し、印鑑データファイルのユーザ名とパスワードを入力して、「OK」を押します。

※ 自動ログインが設定されている場合、この手順はスキップできます。



印鑑データファイルの変更

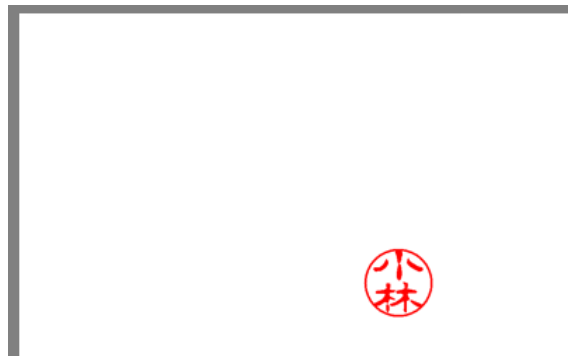
5. 表示された印影を確認し、[捺印] を押すか、印影イメージをダブルクリックします。

※ 印鑑選択ダイアログの非表示が設定されている場合、この手順はスキップできます。

(参照：[4.1.3 印鑑データの表示設定](#))

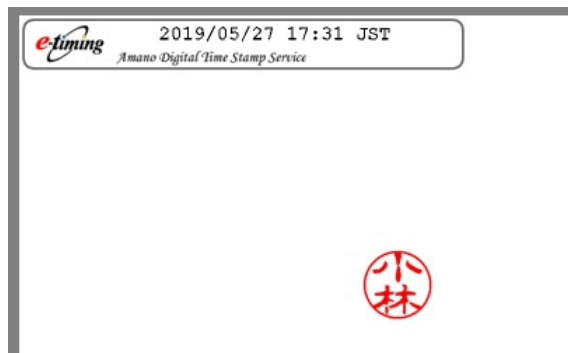


6. 印影がポインターの位置に表示されます。ポインターを動かして目的の位置でクリックします。



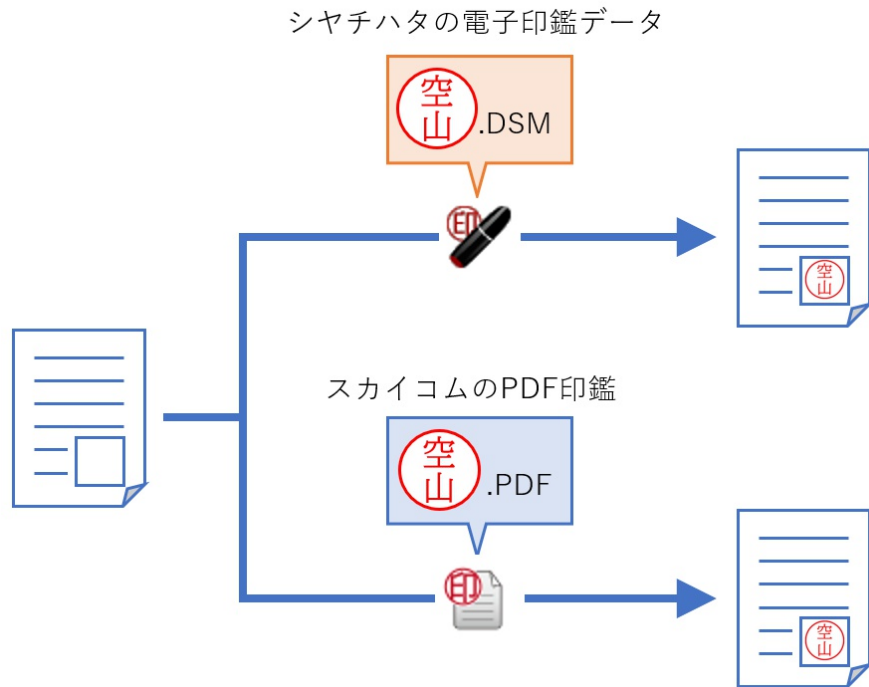
7. 「名前をつけて保存」ダイアログが表示されます。ハイブリッド署名後のPDFファイルの保存先とファイル名を指定して[保存]を押します。

8. アマノタイムスタンプは捺印したページの**左上**に追加されます。



5 PDF 印鑑の捺印

本製品には、シヤチハタ株式会社のパソコン決裁で作成された電子印鑑データを使用する「捺印」機能とは別に、本製品の PDF 印鑑作成オプションで作成された「PDF 印鑑」を使用する「PDF 印鑑捺印」機能があります。これは、PDF ファイルの新しい使い方として、当社が独自に設計・開発した機能です。



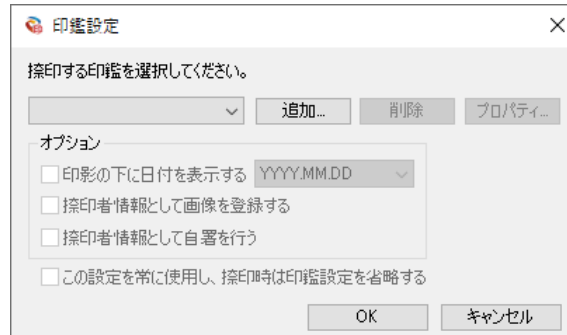
PDF 印鑑とは、氏名・ID・所属などの所有者情報と印影のデータを PDF 形式で作成したものです。

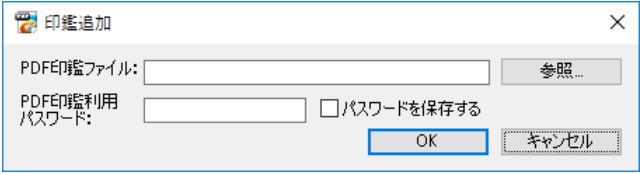
PDF 印鑑作成オプションで作成された PDF 印鑑ファイルが有れば、SkyPDF Standard / Professional[※]で PDF 印鑑による捺印と捺印履歴の確認を行うことができます。SkyPDF Viewer[※]でも捺印履歴の確認は可能です。PDF 印鑑捺印と捺印履歴の確認にオプションの購入は必要ありません。

※ いずれも Ver.7.0.7 以降に限る

5.1 PDF 印鑑の設定

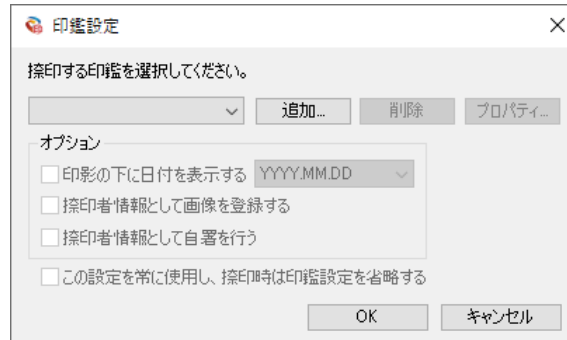
〔PDF印鑑設定〕では、使用するPDF印鑑を20件まで事前に設定しておくことができます。
事前に設定したPDF印鑑は、捺印する際に選択できます。



項目	詳細
(PDF 印鑑リスト)	追加済みの PDF 印鑑設定をドロップダウンリストで選択できる
追加	<p>新たに PDF 印鑑を設定に追加する</p>  <p>追加したい PDF 印鑑ファイルを選択しパスワードを入力して、〔OK〕を押すと追加される</p> <p>〔パスワードを保存する〕をオンにすると、捺印時のパスワード入力を省略できる</p> <p>※ 保存したパスワードを削除したい場合は、一度PDF印鑑設定を〔削除〕し、〔追加〕から追加しなおしてください。</p>
削除	選択している PDF 印鑑を設定から削除する
プロパティ	<p>選択している PDF 印鑑のプロパティを確認する</p> <p>会社名、所属、役職、印鑑利用パスワードを変更できる</p> <p>※ 管理者パスワードが設定されている場合、PDF印鑑作成オプションがインストールされていれば、会社名、所属、役職、印鑑利用パスワードを変更できます。印鑑利用パスワードの変更には管理者パスワードの入力が必要です。</p>
印影の下に日付を表示する	PDF 印鑑の印影の下に、指定した形式で日付を表示する
捺印者情報として画像を登録する	捺印の際、画像の追加が必須に設定されていない PDF 印鑑でも、画像を登録する
捺印者情報として自署を行う	<p>Touch Ink for win オプションの機能</p> <p>捺印の際、手書きサインによる自署の入力が必須に設定されていない PDF 印鑑でも、手書きサインの入力画面を表示する</p>
この設定を常に使用し、捺印時は印鑑設定を省略する	PDF 印鑑を押す際、この設定画面の表示を省略する

5.2 PDF 印鑑で捺印する

1. [ツール] - [PDF印鑑] - [PDF印鑑捺印] を選択します。
2. PDF印鑑の選択画面が表示される場合は、使用したいPDF印鑑を選択するか、新たに追加して、[OK] を押します。（参照：[5.1 PDF印鑑の設定](#)）

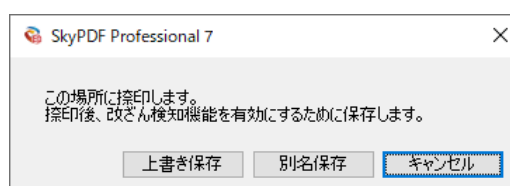


※ PDF印鑑を選択して「この設定を常に使用し、捺印時は印鑑設定を省略する」を設定すると、次回からこの手順を省略できます。その後は「PDF印鑑設定」から使用する印鑑を変更できます。

3. 印影がマウスポインターの位置に表示されます。ポインターを動かして、捺印したい位置をクリックします。



4. [上書き保存] を押すと、捺印して上書き保存します。
[別名保存] を押すと、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、保存する場所を指定します。



5. 目的の位置に印影が追加されたことを確認して、完了です。

稟 議 書				
申請日	2021 年 4 月 1 日	本部長/所長	部長	課長
所属	営業部			
申請者	空山 空太			
件名				
内容・目的				

ヘルプを表示する場合は、F 1 キーを押す

捺印の際、捺印者情報として画像や自署の入力を求められる場合があります。
必要に応じて入力してください。

※ カメラ撮影による画像入力には、PCに内蔵または接続されたカメラが必要です。

※ 自署の入力には、Touch Ink for winオプションが必要です。「指定したPDF印鑑はSkyPDF Touch Ink for winで利用可能です。管理者にお問い合わせください」というエラーメッセージが表示される場合、PDF印鑑ファイルが自署必須で作成されています。

捺印者情報

捺印者の情報として以下を追加します。

画像

カメラ...

参照...

自署

入力...

捺印 キャンセル

自署

自署を入力してください。

クリア

OK キャンセル

5.3 PDF 印鑑の捺印履歴を確認する

1. [ファイル] - [開く] から、PDF印鑑で捺印されたPDFファイルを開きます。

2. [ツール] - [PDF印鑑] - [PDF印鑑捺印履歴] を選択します。

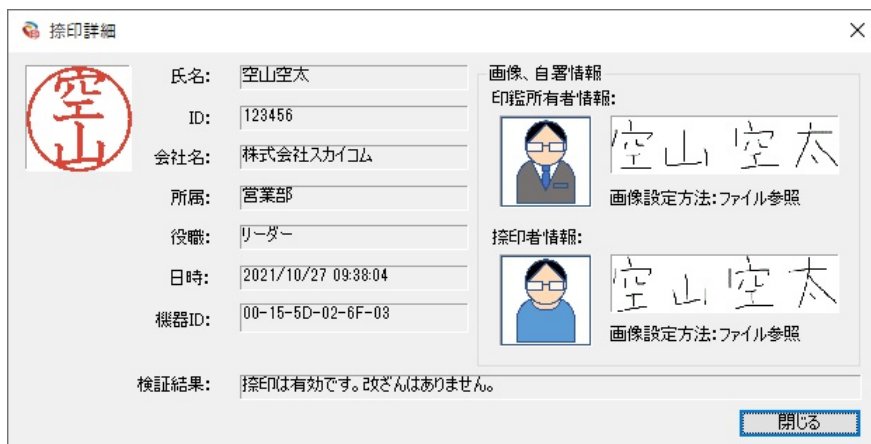


3. 捺印履歴が表示されます。

さらに詳しく確認したい場合は、履歴を選択して [詳細] を押します。



4. PDF印鑑に設定されている氏名、ID、会社名、所属、役職の他、捺印した日時や、捺印に使用した機器IDなどの詳細を確認できます。画像や自署が入力されている場合は、画像、自署情報も確認できます。



検証結果	備考
捺印は有効です。改ざんはありません。	捺印以降、PDF は編集されていません。
捺印は有効です。捺印後に注釈や署名などの追加編集がされています。	捺印以降に PDF が編集されました。
印鑑データが改ざんされている可能性があります。	印影画像が改ざんされた可能性があります。
捺印は無効です。文書が改ざんされている可能性があります。	文書が改ざんされた可能性があります。 捺印後の再構成保存は、改ざんとして検知されます。 捺印後の PDF 結合、分割、ページ抽出は、改ざんとして検知されます。捺印者の画像など一部の情報は表示できなくなる可能性があります。



SkyPDF Standard / Professional 7
ユーザーマニュアル（c.PDF 変換／印鑑の捺印）

第10版 2022年12月28日 発行